

# 道路清掃でSTOP不法投棄

## NPO草津 苦情多い草津川上流対象に

草津市内の建設関連の九十一社でつくる特定非営利活動法人「草津の安全・福祉・災害救援活動を推進する市内業者会（略称「NPO法人草津市内業者会）」

（理事長・松本浩治（株）津田工務店滋賀代表取締役）はこのほど、草津川の不法投棄撲滅運動として草津川上流の道路清掃活動を展開、多数の会員企業が参加し作

業に汗を流した。同法人は草津市を拠点に建設業にかかわる業者が集まり平成二十年六月に設立。市と災害時の応急復旧や重機提供、人的支援につ

いての協定を結び、清掃活動（不法投棄撲滅運動）や市内一円の道路パトロール業務、教育環境向上への支援など幅広い活動に取り組んでいる。

草津市内における不法投棄について市民からの苦情が多く寄せられていることを聞き現場を視察。市内業者会の手で解決できるので

はないか、との声が会員より上がり、不法投棄撲滅運動に立ち上がることを決定。市との協議を通じ最も不法投棄が多く困っている場所を作業現場に選び、今年四月に第一回目の新草津川、十一月に第二回目の草津川上流における活動に取り組んだ。

このほど行われた第二回目の活動には会員企業から三十一名が参加。作業前には橋川市建設部長と浅見善廣市都市建設部長が激励に駆け付け、市長は「市内業者会の皆様には、日頃の地域に根ざした社会貢献活動に改めてお礼を申し上げるとともに、今後も幅広い連携をお願いしたい」と感謝を述べた。

その後、草津市馬場地先から大津市桐生に至る県道南郷桐生草津線沿いで活動を開始。県道に沿って草津川が流れ、土手や法面への不法投棄が大変多くみられる場所、会員らはゴミ袋を片手に道路沿いのゴミを集め、法面に投げ捨てられた大型の不法投棄物を拾い上げ、動員した五台のトラックに次々積み込んだ。なお、交通量が多いため作業は土曜日を選んで行われた。



（右から）橋川草津市長、松本理事長、浅見市都市建設部長、辻副理事長〔写真・上〕、県道南郷桐生草津線沿いの不法投棄物を拾う市内業者会会員ら〔写真・中〕、集めたごみの分別作業〔写真・下〕

投棄現場を見回り終える

松本理事長は、「今回の不法投棄撲滅運動をはじめ、防災や安全、福祉、教育環境の充実などあらゆる活動面において、これまで以上に質の高い社会貢献が出来るよう市との一層緊密な連携に努めていく考え。市民の視線で機動力と協調性を最大限活用し、より良い草津づくりのお役に立っていきたい」と今後の活動への抱負を述べた。